

ふるさと納税

寄付の使い道

◆問い合わせ＝⑧常創戦略課(内線3904)

令和4年度のふるさと納税受入額は、3億5,503万1,027円(延べ16,969件)でした。全国の皆さんからのあたたかい寄付は、市の様々な分野での事業に活用させていただいています。その主な事業をお知らせします。

保健・医療・福祉の充実

子育て支援の一環として、民間認定こども園・保育所の整備、市独自のすくすく医療費助成事業に活用しました。



生活環境の充実

平成27年に市内全域に整備したデジタル防災行政無線の維持管理に活用しました。



学校教育・生涯学習の推進

小・中学校施設の修繕などに活用しました。

産業の振興

市内に事業所を新設・増設する事業者に対して交付する企業立地奨励金に活用し、令和4年度は14社に対して企業立地奨励金を交付しました。

水害からの復興×地方創生の推進

水害からの復興のシンボルでもある道の駅常総の整備に活用させていただきました。



地域活動通信

vol.16

地域づくりから住みよいまちへ

狐山を元気ある地域に。

「第1回狐山秋祭り」開催!



狐山自治会とは?

75世帯の会員で構成され、班交代で公民館の維持管理を行うなど、住民同士で助け合いながら地域活動を行っています。



地域貢献活動について

11月19日(日)狐山緑地公園において、自治会初となる「第1回狐山秋祭り」を開催しました。自治区住民の皆さんによる商品提供のバザーをはじめ、子どもたちも遊べるフリスビーや輪投げコーナー、自治区初の班対抗のペタンク競技大会、豪華賞品が当たるビンゴゲーム大会、地元バ

ンドクラブ(奏音:カノン)によるライブ演奏などが行われ、多くの住民が参加する賑やかなイベントとなりました。

目指すまちのすがた

秋祭りを通して狐山自治会の交流も一層深まりました。これからも、地域住民同士、顔が見える関係を築きながら、更なる地域交流の場を設け、元気ある自治会を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

団体概要

団体名: 狐山自治会

自治区長: 西秋 誠(狐山第一自治区長)

福田 一夫(狐山第二自治区長兼自治会長)



狐山自治会の皆さん



バザーの様子



◆問い合わせ＝⑧市民と共に考える課(内線2120)